

「和木町地域協育ネット」の取組について

【和木町 和木中学校区】

地域の概要

和木中学校区は、山口県の東端、小瀬川を挟んで広島県との県境に位置します。海岸沿いにコンビナートがあり、化学工業が盛んな地域です。

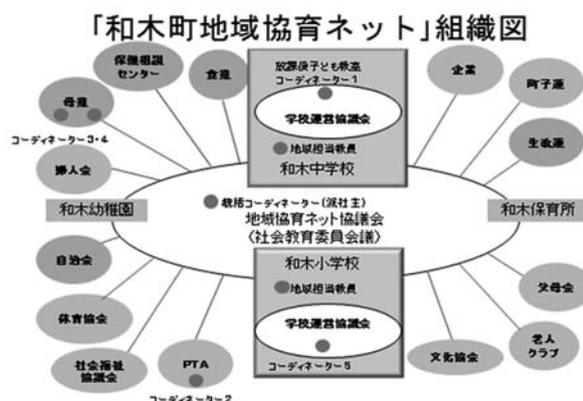
校区には、保育所・幼稚園・小学校・中学校が一つずつあり、幼保・小中の連携が取りやすく、地域住民も学校や町の行事に対して大変協力的です。

人口	6,435人	
世帯数	2,776世帯	
対象校及び 児童生徒数	和木中学校	194人
	和木小学校	390人

組織の内容

既存の社会教育委員会議を推進母体（地域協育ネット協議会）とし、複数のコーディネーターを配置しています。

「地域協育ネット」の組織イメージを右図のように考え、統括コーディネーターを派遣社会教育主事が担い、放課後子ども教室コーディネーターやPTA役員、母子保健推進協議会の役員に「地域協育ネット」のコーディネーターを依頼しています。



今年度から、小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校担当のコーディネーターを1名加えた2名のコーディネーターがそれぞれの学校運営協議会委員を務めています。

放課後子ども教室の活動は軌道に乗っており、コーディネーターを中心に指導者及び教育活動サポーター等、地域の方の支援を受けて運営されています。

幼・小・中の連携については、教職員の合同研修会において計画的に進め、「家庭学習の手引き」を作成するなど、家庭や地域と連携した取組を実践しています。

家庭教育支援については、本町における子育て支援の核となる組織である母子保健推進協議会の役員にコーディネーターを依頼したことで、子育て支援関係団体とのネットワークづくりも軌道に乗っています。町内の子育て支援活動を紹介したパンフレットを、母子保健推進協議会の役員のコordinaterと保健相談センターの保健師が協働して作成し、保健相談センターの利用者などに配布するなど、町長部局との連携も推進しています。

特色・重点的な取組

今年度新たに立ち上げた、幼・小・中・地域の関係者で構成する合同の学校運営協議会「コミュニティ・スクール委員会」と「和木町教職員研修会」が連動した組織になるよう、町教委内で検討を重ねました。また、「コミュニティ・スクール委員会」において「熟議」を行い、学校・家庭・地域の協働による取組について話し合いました。

主な活動の紹介

○家庭教育（子育て）支援について

子育て世代と高齢者世代の交流を図るため、乳幼児とその保護者を対象とした「すくすくフェスタ in わき」と、高齢者の方の参加が多い「福祉まつり」を同日に隣接する会場で開催しました。

今年度は協働による取組は特に行わず、それぞれの会場でお互いのイベントを紹介し合う形でしたが、今後も可能な範囲で連携を深め、三世代の交流が促進されることを期待しています。

また、今年度は、中学生のボランティアの募集に2名の応募があり、実行委員長の支援の下、イベントの運営を手伝いながら、乳幼児やその保護者との交流を深めました。

○「朝食レシピコンテスト」について

和木町教職員研修会の「体力向上部会」において、地域の方との協働による食育を進めるための取組として、中学生を対象にした「朝食レシピコンテスト」を開催しました。

中学校の家庭科教諭、栄養教諭とともに、審査員として食生活改善推進協議会会長と商工会所属のレストラン経営者の方に参加していただき、生徒の考えたレシピを様々な視点から審査してもらいました。

○地域貢献活動について

8月6日に発生した「岩国・和木豪雨災害」により、町内各所で大きな被害が発生しました。発生翌日から多くのボランティアの協力を得て、災害復旧活動が行われましたが、中学生や幼・小・中の教職員もボランティアとして参加し、がれきや泥の撤去作業を行いました。

これ以外にも、和木中学校では、町内一斉清掃への全校生徒の参加、部活動単位での学校周辺の清掃奉仕活動など、地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。



すくすくフェスタ in わき



すくすくフェスタ in わき



朝食レシピコンテスト



災害復旧ボランティア

成果と課題

今年度から、学校支援担当のコーディネーターが2名となり、それぞれが小・中学校の学校運営協議会委員を兼ねることによって、学校とコーディネーターとの連携がとりやすくなりました。また、コーディネーターが1名増員されたことで、各コーディネーターの負担が軽減され、後継者不足に対する問題も解消されました。

中学校の地域担当教員は、和木町の前派遣社会教育主事で、地域の方とのつながりが深く、「地域協育ネット」の趣旨もよく理解しているため、地域連携・地域貢献活動が円滑に行われています。

小学校や幼稚園においても、校内体制をしっかり整え、連携をより深めていくことが今後の課題です。

今後の取組

今年度立ち上げた「コミュニティ・スクール委員会」を、今後は「地域協育ネット」の推進母体としていくことを検討しています。これにより、地域連携・地域貢献の取組がさらに推進されることを期待しています。

来年度から、町内各所に小・中学校の学校だよりを置かせていただき、学校の取組を町民に幅広く周知していけるよう働きかけていきます。